

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分			
基本目標	2	愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする	
具体的な施策	ウ	高齢者等が活躍できる場の創出及び社会参加や生きがいの促進	
	①	高齢者等の就労促進	
	1	特性に応じた就労支援の推進	
事業名	高年齢者等雇用奨励金事業【新規】		
担当課名	観光商工課	所属長名	安永佳秀
関係課名			
事業の目的	高齢者等の雇用環境の改善及び雇用機会の拡大を図る。		
事業の内容	町内に居住する高年齢者、障がい者、重度障がい者、母子家庭の母等を雇用した事業主に対し奨励金を支給する。		
事業の実績・取組状況	新規事業のため、H27年度の取り組みは無し。		
成果（できたこと）	—		
課題（できなかったこと）	—		
担当課評価	—		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	国（厚生労働省）の『高年齢者雇用開発特別奨励金』など、類似している制度の調査及び制度の対象者等、ニーズを掌握する。		
委員評価	—	次年度以降に評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分	
基本目標	2 愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする
具体的な施策	ウ 高齢者等が活躍できる場の創出及び社会参加や生きがいの促進
	① 高齢者等の就労促進
	1 特性に応じた就労支援の推進
事業名	高齢者の生きがい対策事業（シルバー人材センター運営費補助事業）
担当課名	福祉長寿課
所属長名	萬 屋 三 男
関係課名	
事業の目的	働く意欲をもっている健康な高齢者が生きがいとその能力を生かして、地域社会に貢献できるようにするため、シルバー人材センターの円滑な事業運営と安定した基盤ができるまで支援するものである。
事業の内容	シルバー人材センターに1名のプロパーを雇用したことに伴い、人件費、運営事務費相当分を補助するもの。
事業の実績・取組状況	シルバー人材センター運営費補助 1,400千円 【参考】平成27年度の状況 シルバー人材センター登録者数 84名 依頼件数 284件 事業費収集 9,995,470円
成果（できたこと）	シルバー人材センター登録者数（H26年度 65名⇒H27年度 84名）及び事業費収入（H26年度 8,423,669円⇒H27年度 9,995,470円）は増加しており、高齢者の生きがいと活力ある地域づくりに繋がっている。
課題（できなかったこと）	地域住民への周知が十分にできていない。
担当課評価	B 登録者数、事業費収入共に増加し、事業も安定してきた。
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	業務内容が民間業者と同じなので、民間業者を圧迫しないよう住民に周知していく。
委員評価	B 2次評価のとおり

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
 B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
 C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
 D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
 E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分			
基本目標	2	愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする	
具体的な施策	ウ	高齢者等が活躍できる場の創出及び社会参加や生きがいの促進	
	①	高齢者等の就労促進	
	1	特性に応じた就労支援の推進	
事業名	地域人材バンク事業【新規】		
担当課名	関係所管課（総合政策課）	所属長名	小柳 哲也
関係課名	関係所管課		
事業の目的	シニア世代の優れた技能や能力などを生かし、町内企業や社会貢献及び次期指導者の養成を図る。		
事業の内容	仕事・文化・スポーツ等、優れた技能や能力などを有する女性（主婦等）、シニア（概ね50歳以上のキャリア人材）世代を募集し、登録していただいた方にマイスター養成研修や様々な学習機会等で指導を受け、人材育成や人材交流を進める中で、次期の指導者を養成を行う。		
事業の実績・取組状況	新規事業のため、H27年度の取り組みは無し。		
成果（できたこと）	—		
課題（できなかったこと）	—		
担当課評価	—		
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	関係所管課において、各種研修会等で指導を受けているシニア世代指導者のリストアップを行う。		
委員評価	—	次年度以降に評価	

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

平成27年度分	
基本目標	2 愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする
具体的な施策	ウ 高齢者等が活躍できる場の創出及び社会参加や生きがいの促進
	① 高齢者等の就労促進
	1 特性に応じた就労支援の推進
事業名	いきいきファンド助成事業【新規】
担当課名	福祉長寿課
所属長名	萬屋三男
関係課名	
事業の目的	中高年齢者が培ってきた知識、経験、技術等を活かして、活力ある地域社会づくりを促進することを目的とする。
事業の内容	中高年齢者が、生産、加工またはサービス提供を行うため、事業・活動の立ち上げや、中高年齢者が独自または地域住民と協働して、地域での社会参加活動やボランティア活動等を行う中高年齢者グループに対し支援する。
事業の実績・取組状況	新規事業のため、H27年度の実績は無し。
成果（できたこと）	—
課題（できなかったこと）	—
担当課評価	—
課題の解決策（目標（KPI）向上に向けた今後の取組方法）	中高年齢グループによる事業活動やボランティア活動などの実態把握を行い、必要な支援内容の検討を行う。
委員評価	次年度以降に評価

- A：目標以上に進捗しており、このまま継続して事業を推進する。
- B：ほぼ目標どおりに進捗しており、継続して事業を推進する。
- C：目標をやや下回っており、要因の分析を要する。
- D：目標を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する。
- E：目標値または事業自体の抜本的見直しを要する。